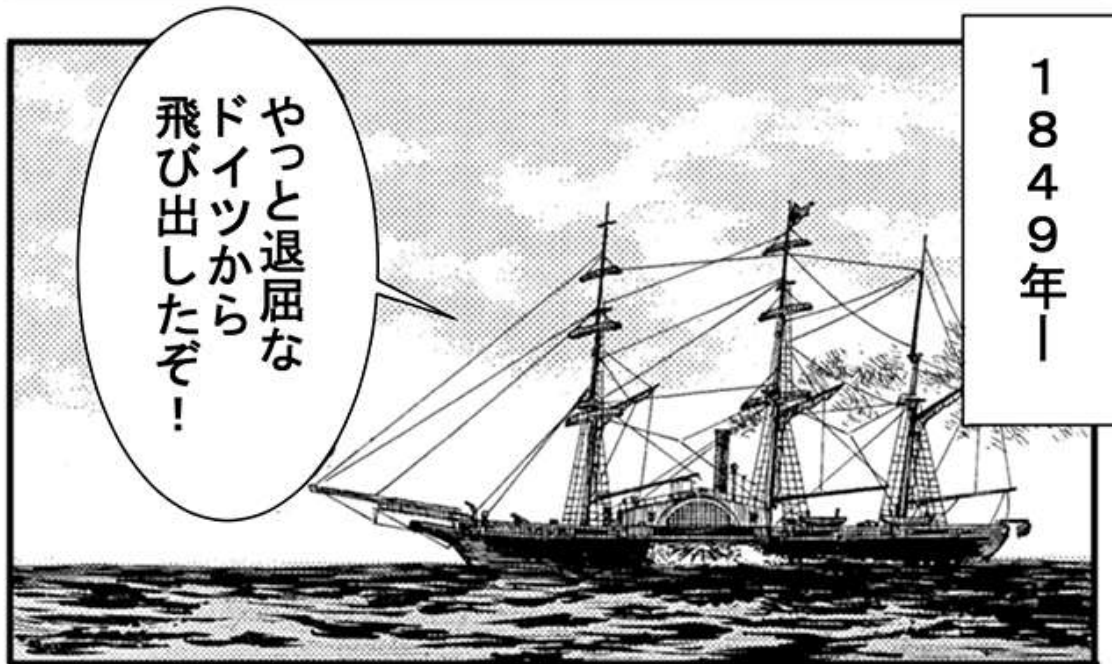


Pfizer



第1章 1849年 アメリカへの旅立ち



やっと退屈な
ドイツから
飛び出したぞ！

1849年ー



従兄弟の
チャールズ
エアハルト



チャールズ
ファイザー

新天地で
一旗揚げて
やろうぜ！

2人は冒険と
チャンス求めて
ドイツから
アメリカへ移民

おお！

この地球を
丸ごと救うような
デッカイことを
しようぜ！





ファイザーは
薬剤師見習い
エアハルトは
菓子職人となった

これがいんじゃないか？

chemicals

化学薬品…

高いハードル
こそが
ビジネスチャンス
じゃないか！

薬品か…
専門的だな



ビジネス
だけじゃない

人の命を
守ることになる



…そうだな

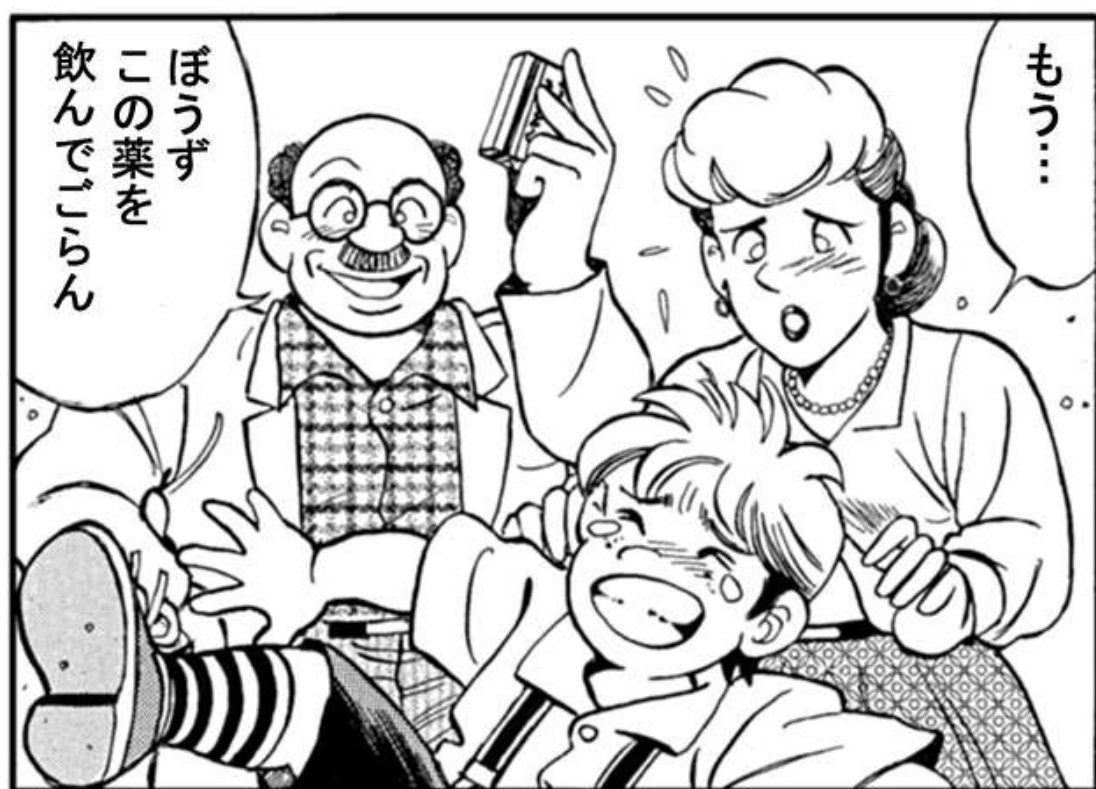
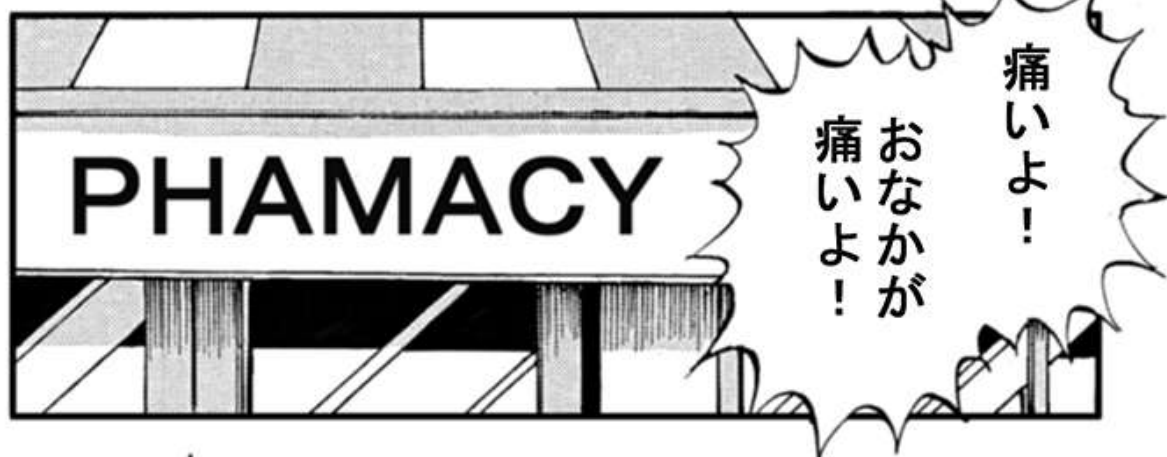
そのためなら
どんな高い
ハードルだって…

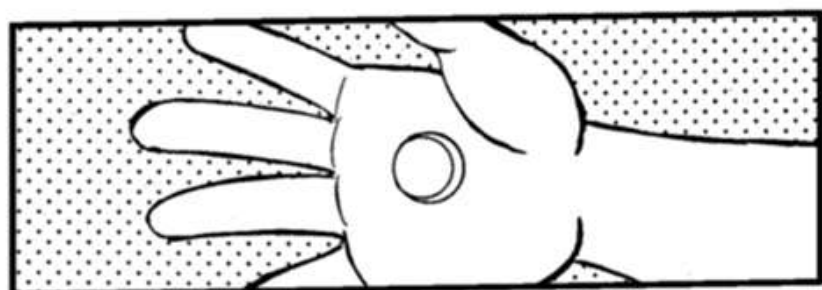


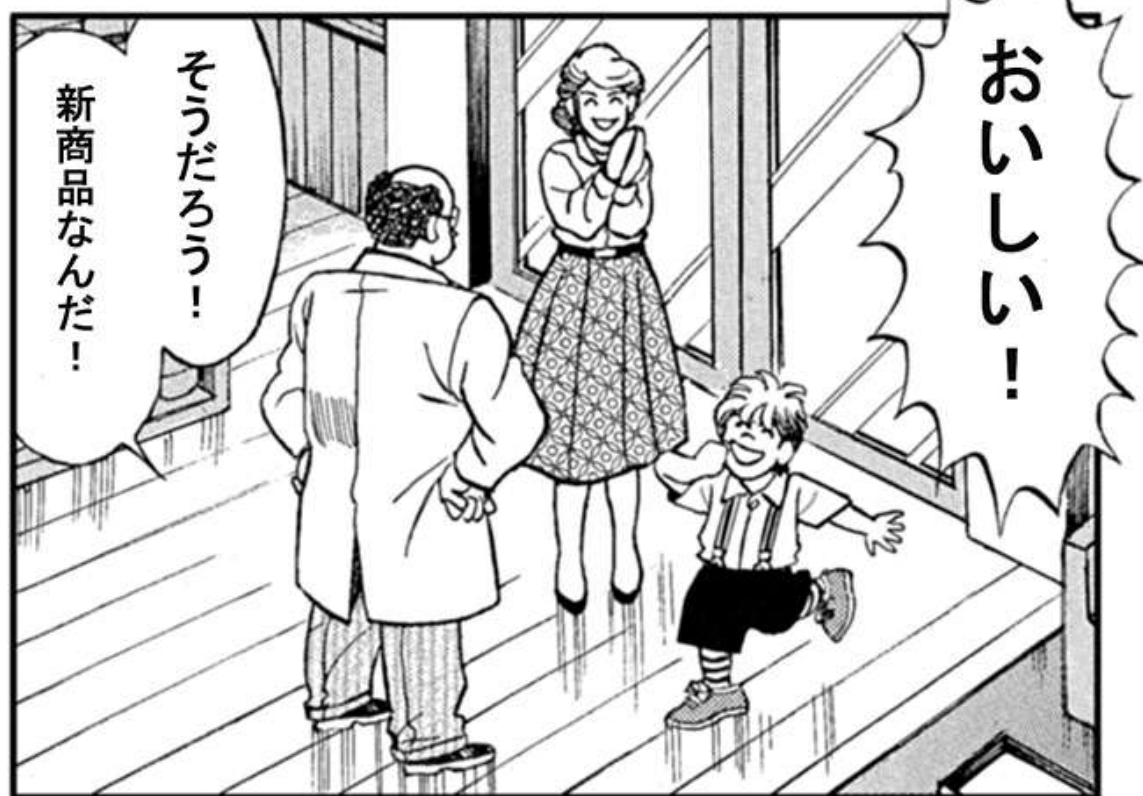
越えてみよう
じゃないか！

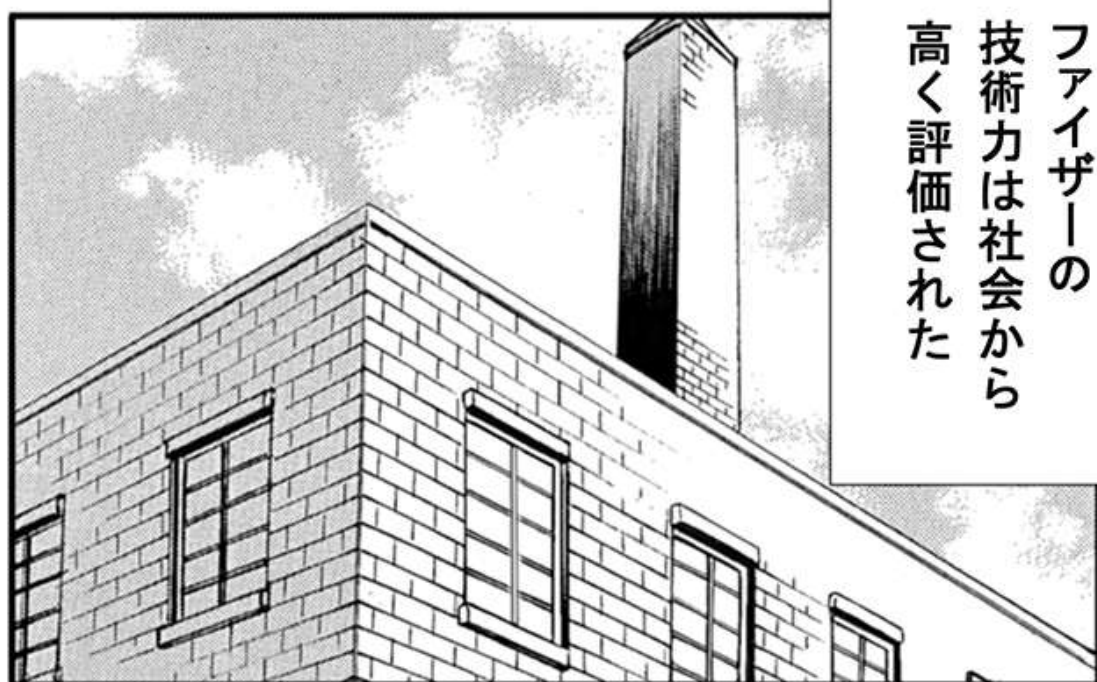


第2章 最初のヒット商品

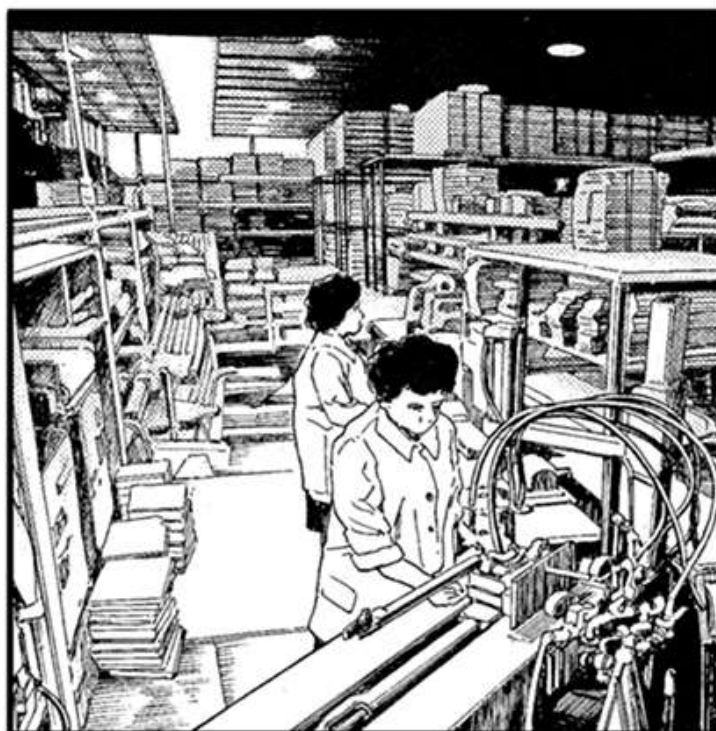








第3章 1914年 ファイザー発展の礎クエン酸



主力商品のひとつ
クエン酸の原料
となる柑橘類は
イタリアの輸入に
頼っていた



政情不安と
天候不順で
柑橘類が
入りません！



どうするんだ…

大丈夫だ！



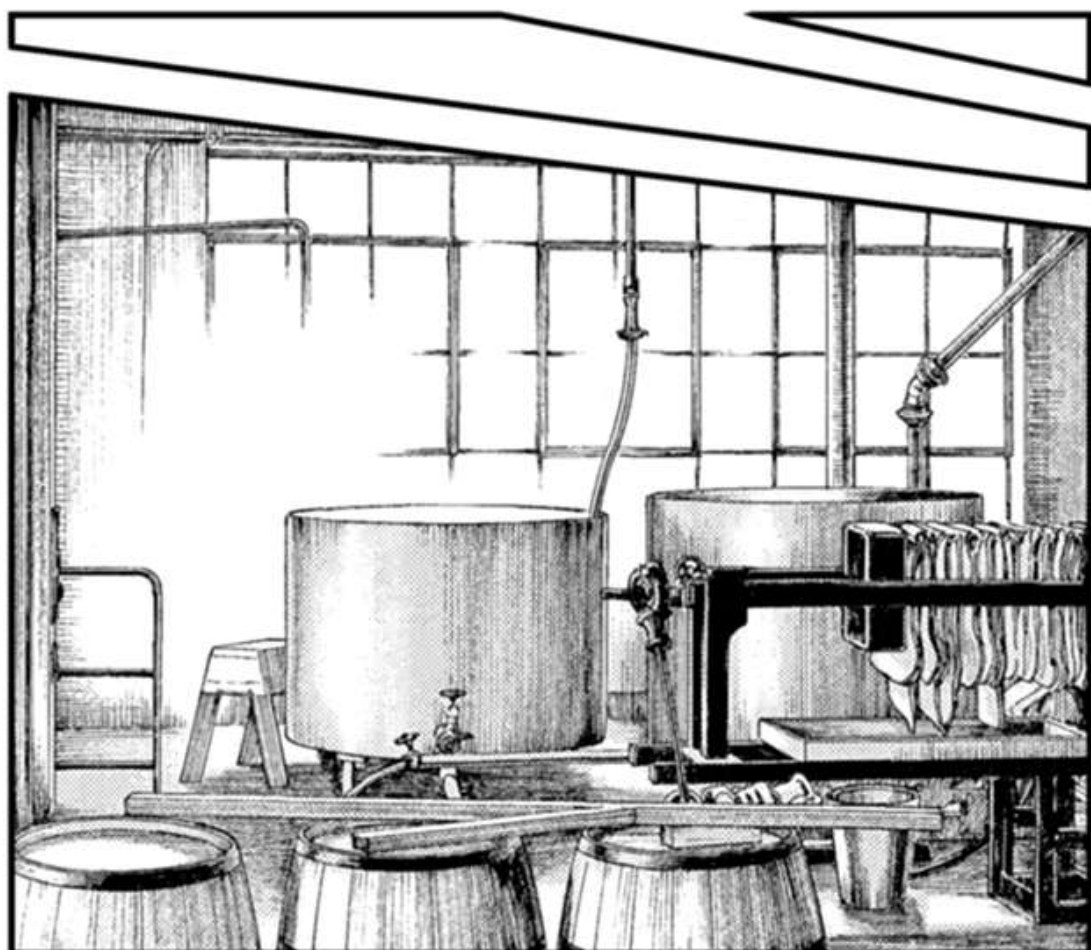
こんな時のために
クエン酸を大量に
造る方法を
研究している！



…政府から来た
カーリー博士が
やっているん
だったな

…出来るの
かなア…



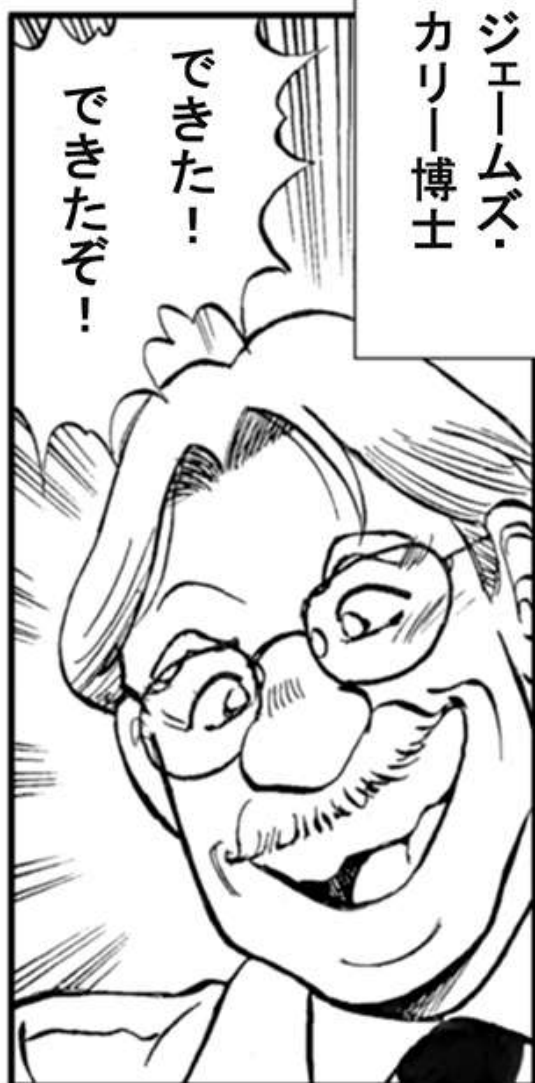


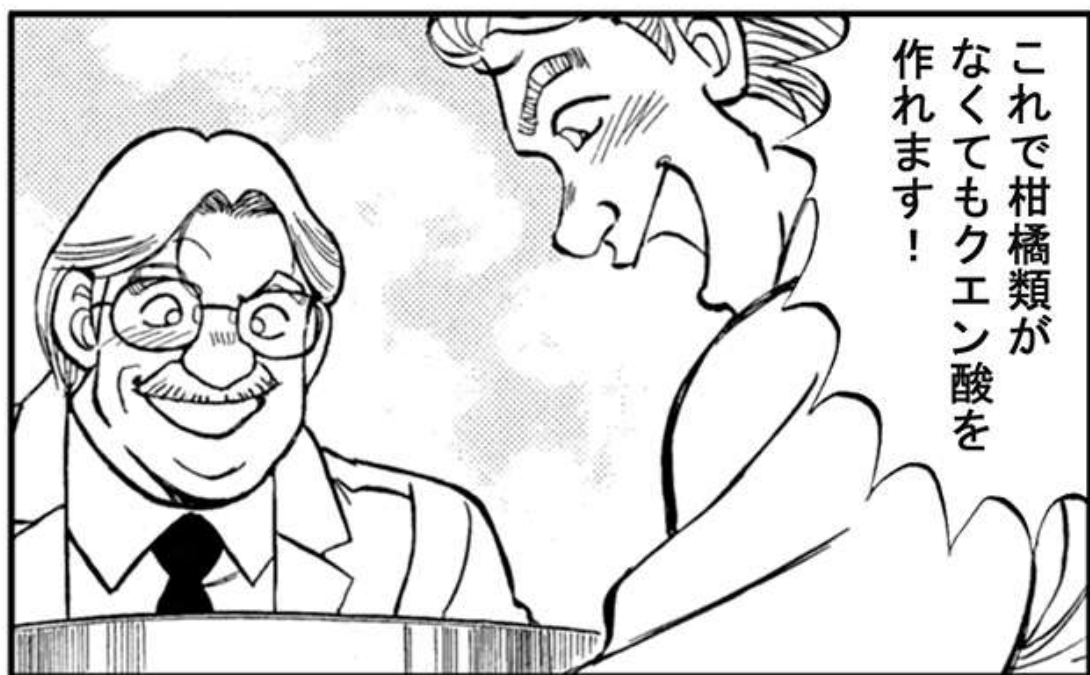
ジエームズ・
カーリー博士

できた！
できたぞ！

助手の
ジエースパー！
ケイン

先生
やりましたね！





これで柑橘類が
なくてもクエン酸を
作れます！



ケインは引き続き
糖蜜を使った
深底タンク発酵の
開発に取り組んだ

これが
後に全米を
救うことになる

第4章 1940年代 ペニシリンに賭けた社の命



20世紀前半
世界中に
ペストやチフス・
インフルエンザが
蔓延した



アレクサンダー・フレミング

ペニシリンの発見で
事態は収束するかに
思われたが



生産量は
ごくわずかだった

ファイザー
会長兼社長
ジョン・スミス

政府から
ペニシリンの
大量生産の
研究をするよう
要請があつた

